

**カラスガイ** イシガイ目イシガイ科  
*Cristaria plicata* (Leach, 1815)

鳥取県：絶滅危惧I類 (CR+EN)

環境省：準絶滅危惧 (NT)



撮影：谷岡 浩

■**選定理由**：生息地が限定され、個体数も少ないため。

■**特徴**：殻は楕円形で平たく、殻長は20 cmを超える大型の二枚貝。殻頂の両側背縁に翼状突起があり、とくに幼貝では後背縁の翼状突起が発達するが、成貝では目立たなくなり、付け根にしわ状の褶曲がある。池の軟泥域に生息。繁殖期は晩秋から早春。幼生の宿主はヨシノボリ属で、鰓や鰓に寄生する。

■**分布** 県内：多鯨ヶ池，湖山池。 県外：北海道南部，本州。

■**保護上の留意点**：湖山池では夏期の水質および底質環境の悪化が懸念される。多鯨ヶ池では外来魚が優占しており、ヨシノボリ属の減少による本種の繁殖成功率の低下が懸念される。継続的な外来魚駆除および安定した水質，底質環境の維持が必要。

■**特記事項**：鳥取県特定希少野生動植物。

■**文献**：20, 26, 38.

執筆者：福本一彦・谷岡 浩